

JAめまんべつ

あおぞら



TPP
参加
断固
阻止



オホーツク農協青年部協議会
会長 小松 友也さん(大東)

TPP集会・デモ

7月22日(月)、北見芸術文化ホール前広場で開催された、TPPから「地域」「暮らし」「いのち」を守るオホーツク総決起集会にJAめまんべつから84名が参加しました。

(役職員・青年部・女性部・農民協議会等)

集会終了後には、北見市中心部でデモ行進を行い、TPP交渉への参加反対を訴えました。



カナダ・アメリカ農業視察

6月22日から30日まで渡邊組合長、役員6名による海外視察研修を実施してきましたのでご報告致します。

◎カナダ

カナダ農業の概要

カナダの広大な国土は、そのほとんどが森林、湖沼、山岳等であり、また、気象条件も寒冷で、農耕には適していません。それでも農用地面積は6,800万ha、永年採草・放牧地を除いた作物が栽培されている面積だけで約4,500万haと日本の国土面積(3,800万ha)の約1.2倍あります。農用地の国土面積に占める割合は約7%で、内耕作面積が約7割、永年採草・放牧地が約2割あります。カナダでは、穀物(小麦、大麦、なたね等)や畜産物(牛肉、豚肉、乳製品)の生産が盛んで、特になたねは世界第2位の生産量があります。

1. オンタリオ州野菜農業団体

ホランドマーシユ生産者協会を訪問しました。

協会は、カナダのグリーンベルト地帯に位置し、オンタリオ州の肥沃な農



地の一部を含む低地にあり、地元消費のために食物生産に焦点をあてた100の農家のコミュニティーです。協会は日本の組合とは異なる組織で生産からマーケティング、国や州政府との交渉やマスコミとのパイプ役としての機能を果たしています。また、農機具メ

イラーの役割も果たしており、人参の大型収穫機等の製作をしていました。土地は元沼地で運河に囲まれており、ポンプや暗渠等による排水で耕地化してきました。約3,300haの耕地に

人参、馬鈴薯、レタス、トマト、セルリー、玉葱等18品目の作付をし、養豚や牧畜も行われています。協会では肥沃な土地(ピートモス成分を含む)でオーガニック栽培に取り組んでいます。人参、玉葱は貯蔵しながら小売りに直接卸しており、オンタリオ州にはこのような協会が341あります。農家の平均年齢は59歳で、一戸の平均耕作面積は20ha、所得は6万から7万ドル(別に奥さんの所得もあり)あります。以前は500世帯あったが100世帯まで減っており、6月から8月にかけてジャマイカ人やメキシコ人の季節労働者を雇っています。

カナダの農家人口は全体の1.2%であり、TPPには賛成でしたが、農家に対する国の支援は特になく、畜産や七面鳥は輸入品に負けるだろうと話していました。

2. ジエイソン農場

ジエイソンさんはオランダ移民の4代目に当たり、先代は1934年からこの地で農業を始めました。入植時のあたりは沼地でしたが、土地改良により現在は150haの農地に、人参、



玉葱、赤カブ、ニンニク等を作付けしています。農場には工場長2人の他4人が働いており、収穫時は梱包作業等に20人の季節労働者を雇っています。人参や玉葱の播種では畦間に麦を播き作物を守っているが、今年は雨の影響で生育は10日程遅れています。肥料は前作の玉葱の肥料分(秋に土壌分析を実施)が残っているため窒素分は入れてないと話されました。作業はGPSを備えたトラクター等で精度を上げています。

3. キンバリー農場

この農場の経営主も四代目であり、285 haにトウモロコシ、人参、カブ等を栽培しています。ここでは梱包はしてませんが、貯蔵庫を6棟所有し出荷しています。圃場には運河やため池から水を引いて灌漑し、収穫や管理作業はGPSを付けた作業機にプログラム（施肥量等）し、労務費の節約等に取り組んでいます。播種や収穫等の作業は日本にはない大型機を土地条件や作業に合わせて改造し使用しました。カナダ人の食の安全に対する要望は大変強いとのことでした。

4. 農機具販売店視察

ケースの販売店を訪問し、大型トラクターやコンバイン等を見学しました。

◎アメリカ

全米には220万の農場（9割は家族経営）と、農業に関わっている人が2,100万人おり、農地面積は9億3,100万エーカー（3億7,240ha）です。貿易収支において農産物は米国の最も重要な輸出品の一つであり、貴重な黒字分野です。

世界のトウモロコシの43.3%、小麦の9.3%、大豆の31.9%を生産しており、輸出額は1,150億ドルに上ります。

ニューヨーク

1. グリーンマーケット

ニューヨーク市民は健康に対する意識が高く、オーガニック食材等をグリーンマーケット（54力所）として登録された出店（フリーマーケット）で販売されています。取扱の95%がオーガニックで多種多様な商品が陳列されています。売上に関係なくニューヨーク市の支援があり、品質は市のガイドラインに基づきますが、価格の関与はなくスーパーより高い安いはありません。

2. ニューヨーク郊外農業視察 マックケノー有機農園

マックケノーさんは元々は酪農を営んでいましたが、1987年からオーガニックファームとして400haの土地で野菜（トマト、メロン等）や畜産（牛・羊・鶏等）、堆肥の生産を行っています。農園内の店舗では生産されたオーガニック野菜を中心に陳列されています。堆肥生産はオーガニックだけでなく農場やスーパー等から出る残飯等も使用しており、有機生産として認定を受け、袋話し販売もしています。農場は4人のフルタイムと季節労働者で運営されています。トマトのオーガニック栽培は25年前から始め、5月から11月の期間でハウス栽培されています。温度調節用のボイラーは環境に配



慮し木を高温で燃やしているのでほとんど煙が出ません。また、ライ麦の藁を冬場にかけて雑草が生えないようにし、春にすぎ込みオーガニックの肥料とします。鶏は1歳で放牧し、糞を肥料とします。オーガニックに対し国等からの助成はありませんが、子供達を対象にした教育事業では補助を受けてました。

まとめ

今回の視察ではカナダとアメリカの農業やマーケット、さらには国民性等について身をもって体験することができました。両国とも食品の安全に関心を持つ消費者が増えており、農業者もオーガニックへの取組が増えてきています。カナダは主にイギリスとフランスの移民からなる国家であり、国を信賴し自然環境と地域・伝統を大事にする豊かな国民性を感じました。アメリカも移民による多民族国家であり、そのせいか日常生活の中でも自己主張と自己を中心に少しでも有利に事を運ぼうとする国民性を感じました。

今後TPP交渉が始まると思われるかもしれませんが、日本（我々国民）の思うような交渉ができるか一抹の不安を覚えました。

平成25年度

東日本大震災被災地復興支援活動に参加して

高野 克美

6月28日から7月2日までの間、支援活動に参加させていただきました。今回の目的は、農業者として「安全安心」「地産地消」「地元食材」をアピールし、被災者に炊き出しで少しでも元気になってもらうことでした。

女満別産の食材を使い、蕎麦、さくら豚、ジンギスカン、アスパラ、芋団子などを振舞いました。すぐに長蛇の列ができ、子供から年配の方までたくさんの方から「美味しい、本当にありがたい」と言っていたきました。子供たちは自分で作る綿あめやポップコーン、ヨーヨーすくいで楽しんでくれたようで、笑い声を聞きひとまず安心しました。

また、被災者の方も一緒に準備等お手伝いいただき、いろいろな話をしました。

偶然にも私の知人の奥さんの実家が陸前高田市で、現在米崎小学校仮設住宅住まいと聞き、自治会長さんに案内してもらいお会いすることができました。

手打ち蕎麦、ジンギスカンを直接仮

設住宅に持って行きとても喜んでもらえました。

北海道にいる娘さんの話もたくさん聞きました。

帰り際に、地元の盆踊りで盛り上がり被災地の方々と一体になれたと思います。

「また来てね」「美味しかったよ」と声をかけていただき心から感激しました。

翌日は町並みを見て驚きました。3年前テレビで見た風景ではありません。大半はさら地になっており、いたる所で24時間体制でがれきの山の分別作業をしていました。高い山を削り8mほど土盛りすると聞きました。

少しずつ復興している様子が見えますが家族も家も元には戻りません。残念で悲しく思います。

また、海からかなり離れた所に被災した防災センターの跡があり、3階建ての建物は見る影もなく、そこで働いていた女性職員がひとりでも避難をと最後まで、命がなくなるまで呼び続けたと聞き、目頭が熱くなり改めて命の尊さを感じました。

今回参加して、初対面の方々が多く心配でしたが、被災者、参加者の絆が

でき、最後は仲間、家族みたいになれた気がします。また機会があれば参加したいと思います。



子供から話を聞く高野さん

魚石 真次

6月28日から7月2日まで、岩手県陸前高田市に被災地支援に行ってきました。

支援内容は、陸前高田市の米崎小学校と高田高校にあるそれぞれの仮設住宅に対して、豚串、ジンギスカン、アスパラ、ヨーヨー、ポップコーン、わたあめ、手打ちそばなどをふるまう事で、私の担当はジンギスカンでした。

米崎小学校では約150人に対して2時間で20kgのジンギスカンをふるまい、高田高校では約250人に対して4時間で30kgのジンギスカンをふるま

いました。多くの人がジンギスカンは普段食べる事がないと言っていました。とても美味しいと言って、家の中にいてまだ食べていない人がいるから持っていったあげたいと2つ、3つと持ち帰る方もいました。おかわりをする人もいて、予定数量はほぼ時間通りになくなり、たくさんの人に感謝の言葉を頂きました。

仮設住宅で生活しているとはいえ、その人達はなんら苦労しているような雰囲気は見せず、特別、被災地支援をしているという感覚はありませんでした。

老人から子供までみんな明るく元気で、やっているこちらが逆に元気を貰ったのかもしれない。ですが、やはり少し話を聞くだけで震災当時の生々しい状況を伺い知ることができました。

津波による被害の大きかった現場は、ガレキ等は概ね片付いているがほとんどがさら地で一部建っているコンビニや住宅等もすべて仮設という状況、話によるといまだ復興計画が決まっていないためいつ戻れるのかわからないという。

さら地は何mもかさ上げするため山を切り崩し、造成があちこちで行われていたが、その作業はまだ始まったばかりとも思えるほど先が見えない。また例え戻れる様になっても震災当時の事を思い出してしまい、恐いのでとて

も戻る気がしないという人もいました。



ジンギスカンを用意する魚石さん



準備を急ぐ魚石さん

今回の活動に参加させて貰えて、被災地の現状を実際に見て被災者と交流ができました。

計画、準備等すべてして頂き、自分は十分な活動が出来たとは思ってないし、具体的にどの様な役に立てたのかわからないが、私にとって今一度東日

本大震災を考える良いきっかけになつたし、良い経験させて貰ったと感謝しています。

石川 祥平

東日本大震災から約2年と3カ月が過ぎた平成25年6月28日から7月2日までの5日間、私は陸前高田市での被災地復興支援に参加しました。

内容は陸前高田市米崎小学校・高田高校仮設住宅での手打ちそば・ジンギスカン・綿あめ・さくら豚串等の屋台イベントでした。

今回の活動への参加を希望した理由は、被災した人達のために少しでも役に立てたらと考えたことと、テレビや新聞・インターネット等で被災地の様子を見聞きすることはあっても、本当にそのようなことが起きているという実感が湧かなかつたため実際に被災地の状況を見てみたいと考えたからです。

支援当日、陸前高田市米崎小学校仮設住宅へ向かう途中でふと目に入った光景は被災当初にテレビで見た凄惨なものではなく、整然と草畑が広がっていました。しかし良く見るとそこには建物の土台部分が残って、瓦礫が山のように高く積み重なっていて、多くの建物があったことを物語っていました。片付けは進んでいても、復興に至るまでは、まだかなりの時間が必要な印象を

受けました。

旧市街地を抜けて高所に向かうにつれてプレハブでできた仮設商店が数多くあり、生活物資や食料に関して供給されていることに安心しました。

イベントは仮設住宅に住む人達の協力もあってスムーズに行うことができ、皆で楽しむことができました。最近ではこのような形の支援イベントはあま



仮設住宅に住む子供達とふれあう石川さん



子供達とふれあう石川さん

りなく、本当にうれしかったと言ってもらえることができ、子供たちにも楽しんでもらうことができましたと思います。子供たちの多くは震災によって親や友人を亡くしていて、他の地域に転校していく友人も多くいる中で生活を続けていました。そのような子供たちに楽しんでもらえた事がとても嬉しかったです。

今回の活動に参加して感じたことは、報道が少なくなっても復興に向けての活動は続いている事を忘れてはいけなさと感じました。未だに住宅が建つ見込みが無く、仮設住宅から出る事が出来ない人や他の地域へ転出していく人が多くいて、元通りのような形の復興は10〜20年単位の時間が必要で、逆にそれだけの時間をかけないと地域経済が安定しないのではないかとこの話もあります。

これからも地域住民の復興への活動は続いていきます。その中で今後少しでも力になれるように協力していきたいと感じています。

震災によって受けた被害は計り知れないものですが、その苦勞によって培われた地域住民の団結力があれば乗り越えられると信じています。

当然というものが常にあるわけではありません。このような貴重な体験が出来たことを忘れずにしていきたいと思えます。

東日本大震災被災地支援活動に参加して

経済部 農産課 山田 大ひろ

この度、大空町が主体となり、震災発生当初から毎年継続して行っている被災地支援ボランティア活動にJ A ぬまんべつを代表して参加する機会を頂きました。

平成23年震災直後に行われた支援活動では炊き出しの他、がれき処理や施設に入ったヘドロ出しが中心に行われ、平成24年度の支援活動では炊き出し、流失した牡蠣いかだの作成が行われました。3回目となる今回は、作業的なことは専門業者が行うような事しか残っていないため、仮設住宅に暮らす被災者に笑顔を与え、一瞬でも明るく楽しく過ごしてもらおうと縁日風の屋台に、採れたてのアスパラ・ジンギスカン・ぶた串・手打ちそばを出し、また子供たちには綿あめ・ポップコーンを振る舞ったり、ヨーヨーすくいを行うことを計画致しました。

6月28日朝、大空町役場を車3台に参加者15名が分乗し出発しました。車で海を渡る経験が初めての私は、予め覚悟はしておりましたが、本当に長い道のりに感じました。

7時出発→16時函館フェリー乗り場到着→21時過ぎ青森県到着→22時頃青森市内ホテル到着。行くだけで疲労感

たっぷりでした。

翌29日朝は一ヶ所目の活動先となる、岩手県陸前高田市にある米崎小学校グラウンドに設置されている仮設住宅を目指し出発します。出発からしばらくは高速道路を走行し天気も良いせいか普通の山並みの景色が続きました。

高速道路を降り、一般道をしばらく走り海岸に近くなるにつれて景色が少しずつ変わっていくのがわかりました。最初のうちはあれっ?あれっ?なんか変だなあ。という感覚程度でした。よく見ると雑草に埋め尽くされているのは津波に荒らされた畑であったり、変



形した倉庫であったり。しかし、車を進めていくと突然景色は一変しました。プレハブの大きな建物、これは何だ?と思った陸前高田市の仮設市役所。そこからまもなく行くと巨大な火山灰の山。一面海だと思っていたら、地盤沈下して水没している畑。

5階建てで4階の窓までがぶち抜かれている大きなマンション。すべてが流された道の駅。

テレビで映像としてしか見たことのない被災地が次々と目の前に現れました。

あまりの衝撃に言葉を失い、ただ呆然と車を走らせました。

海岸沿いは、がれきを処理場に移動し真つ平らです。車を降りると雑草の中に住宅の基礎や商業施設の基礎が連ねてあり、生活の中心地であったことがわかりました。

一体は、現在の地面から8メートルかさ上げし、その後に商業施設などを建設する計画だそうです。住宅地は高台に移動し公営住宅を建設するそうです。

口で言うのは簡単です。話を聞くのも簡単です。しかし、現状を目の当たりにすると…。何年先にそれが実現されるのだろうと感じました。高台はやっとなが山を切り崩しているだけです。仮設住宅を増設しているのかと思うと、それはこれから建設現場に入る



作業員の宿舎だそうです。まだまだそんな状態です。国もゆっくりしているつもりはないのでしようが、もっと急げ!と言いたくなりました。

そんな光景を見ながら走っていると目的地の米崎小学校に到着しました。米崎小学校は、約40戸150名が暮らす仮設住宅です。

それぞれが担当に分かれ準備を始め、14時30分頃イベントを開始しました。最初は少し気恥ずかしそうにぶた串を受け取ったり、ジンギスカンを受け取ったりしていましたが徐々に雰囲気にも慣れ、お年寄りや小学生たちが明るく元気にもう一回ちよっだい!などと、どんどん行列ができていきました。

それは、被災者であることを感じさせないほどの明るい笑顔でした。

また、女満別町麦作振興会の発案で、女満別産小麦100%使用した「冷や麦」を300食用意し、同地区の自治会へ進呈いたしました。

一段落した頃から、仮設住宅に住むおばあちゃんと話をしました。仮設住宅に入った頃は、ただの屋根・壁だけで、最初の冬には洗濯機の水が4回も凍るほどで、とても寒い思いをしたとか、壁が薄く隣の会話が丸聞こえだとか。体が休まらない上にプライバシーもなく、トラブルが絶えなかったそうです。今ではやっと窓も2重サッシになったり壁に断熱材を入れたりして改



善され住みやすくなり、そのうちだんだんみんなが明るくなってきたと聞き、仮設ではあっても生活基盤がきっちり作られることによって人の気持ちも大きく変わるのでと思いました。

ただし、高齢の方々は今後公営住宅が建設されても、いつ入居の順番が回ってくるのか見当もつかないよ…。と不安そうにしていました。

また、小さな女の子が訪れ、かわいいねとお母さんに言つと、私はお母さんじゃないんだよ、と。よく聞くとその女の子の両親は津波で流されてしまい、その方が引き取って育てているとか。やはりここは被災地だと実感しました。娘がまだ見つからないとか、うちのお父さんは流されたとか、つらい話があちらこちら聞こえました。

そのうち、事務局が雰囲気盛り上げるために音楽を流していたラジカセから地元の民謡が流れ出しました。みんなで踊りたいからこれを流してと頼まれたのです。

高齢な方が多いせいか踊り慣れておりあつと言つ間に輪になって大いに盛り上がりました。

最後には、みんなが「また来てよ」と手を振ってくれ、短い時間でしたが一ヶ所目での活動が無事終わりました。

30日には同じ陸前高田市の高田高校グラウンドに設置された仮設住宅で活動しました。



この仮設住宅は約1000戸400人が暮らしており、仮設住宅としては最も大きい規模だそうです。昨日に続き2回目と言つこともあり準備はスムーズに行われ、予定通り12時30分からイベントを始めました。人数規模が多いこともありあつという間に長蛇の列となりました。一番人気はジנגススキャンのようでした。

昨日同様に住民の方と会話し被災の実情を伺いそのご苦労を感じ取ることでできました。

やはりどの方もあつという間の2年間で、復興が始まるのはこれからだと感じているようです。

高田高校は水田や畑が広がる場所の少し小高くなった所にあります。眼下に広がる農地は荒廃しており、

雑草が生い茂っていたり流れ込んだ土砂で地盤が平らでなかったりしていました。この農地はやはり当面は耕作が難しいようです。

復旧作業が進んでいる所は表土がはがされプラントのような施設へ集められ、網状のバケットがついたバックホーで揺すりゴミとの分別を行い、その後塩分を取り除くために土壌洗浄を行い畑に戻すとの事でした。

また、畑での耕作をあきらめた農家は、施設を建て水耕栽培で野菜をつくっている方々もいるそうです。

ここ数年、当地区も気象災害が多く肩を落とすことが度々ありましたが到底比較にはならない惨状でした。普通通りにいつもの畑がありそこで作物が育つことが当たり前ですが、そんなことが最も難しい現状がそこにはありました。

今回の支援活動を通じて、多くの人が被災地の現状を確認し、常に気に掛け、それぞれの立場で行える復興支援を模索する必要があると思いました。あと2年や3年、5年や6年で元の生活を取り返すことは困難でしょう。

平穏に暮らす我々は、日々の生活の中で地域とのふれあいや助け合いの気持ちを今まで以上に強く持ち、震災をいつまでも忘れずに一日も早い復興を祈り続けなければならないと感じました。

平成25年度 JAめまんべつ年金友の会 親睦パークゴルフ大会開催

7月12日(金)、JAめまんべつ年金友の会(阿野政義会長)親睦パークゴルフ大会が、朝日パークゴルフ場で開催され、天気にも恵まれ日頃の成果を存分に発揮され、正確なショットで4人がホールインワンを出すなど、みなさん楽しい時間を過ごされていました。

尚、ゲートボール大会につきましては、参加人数の減少により中止とさせていただきました。

パークゴルフ大会(参加人数37名)成績

●男性の部

優勝 坂東 正さん
準優勝 長良 弘幸さん

●女性の部

優勝 高橋 順子さん
準優勝 佐藤 洋子さん

●ホールインワン賞

坂東 正さん、長良 弘幸さん
原 貢さん、原田 幸雄さん





第2回 親子の農業体験学習開催



7月13日(土)、31名の親子が参加し、第2回 親子の農業体験学習を開催しました。

メルヘン農場にて畑の管理作業、ホウレン草の植え付けを行ったあと、東藻琴乳酪館に移動しアイスクリーム作りを体験しました。

当日は、天気が良く気温も高かったのですが、畑で作業した疲れも見せず、できあがりを楽しみに子供たちはアイス作りに励んでいました。

次回は、いよいよ収穫作業です。大事に育てた作物がどのようなになっているのかを今からワクワクして待っています。



TPPを考えるフォーラム

6月27日(木)、北見市のホテル黒部にて「TPPを考えるフォーラム」が開催され、JA女性部役員14名・JA職員4名が参加しました。

東京大学大学院 鈴木 宣弘 教授による「TPPをめぐる情勢と今後の対応策について」の基調講演が行われました。



東京大学大学院 鈴木 宣弘 教授 ▶

JAフレッシュミズ役員研修会

7月5日(金)、フレッシュミズ役員研修会が、役員7名参加のもと開催されました。

視察先のクレードル食品株式会社では、会社の概要や取り扱い商品の説明・原料調達状況の説明を受け、試食もさせていただきました。



JA女性部日帰り研修会

7月8日(月)、JA女性部日帰り研修会が、部員49名のもと開催されました。

北見市留辺薬町の山の水族館を見学し、イオン北見で市場視察を行いました。



JA青年部 夏期勉強会

7月2日(火)、JA青年部が、JA会議室にて、「当JAの資金と貯金について」と「TPP交渉参加に向けての現況報告について」の内容で、夏期勉強会を部員52名出席のもと開催されました。

講師は、当JA金融課 高西係長と北見地区農民連盟 事務局次長 清水 敬弘 氏が行いました。



ブロッコリーの選別開始

6月19日(水)、ブロッコリーの選別が始まりました。

品質は良好で、6月から10月まで東京・名古屋方面を中心に出荷されます。

作付け面積は、昨年とほぼ同じで、販売額は約1億円を計画しています。



軟白ねぎの選別開始

7月17日(水)、軟白ねぎの選別が始まりました。選別開始前には、目慣らし会を開催し受入や品質の基準・選別の要領等の確認が行われました。

名古屋方面を中心に7月から10月まで出荷されます。



予定利率変動型
JAの年金共済「ライフロード」を
老後資金準備にご活用ください



Q-1

老後資金準備の自助努力はいつから始めるのが良いのかしら？

A-1

やはり早めの準備が肝心です。
早く始めるほど負担が軽くすみます。



例えば…

利息のない世界で、60歳から69歳までの10年間毎年60万円（総額600万円）の年金を受け取るとした場合、20歳から積み立てを開始すれば、毎年15万円（月々12,500円）の積み立てとなりますが、50歳からでは、その4倍の毎年60万円（月々50,000円）の積み立てが必要となります。

積み立て開始年齢	毎年の貯蓄額	
20歳（40年間で備え）	毎年15万円貯蓄 （月々12,500円）	準備が遅くなるほど、積み立ての負担が大きくなります。
30歳（30年間で備え）	毎年20万円貯蓄 （月々16,667円）	
40歳（20年間で備え）	毎年30万円貯蓄 （月々25,000円）	
50歳（10年間で備え）	毎年60万円貯蓄 （月々50,000円）	

また…

早く始めればはじめるほど、複利効果（利息が利息を生む効果）が期待できます。下図のように運用期間が長期になればなるほど、その効果が大きくなる点がポイントです。



※上記は、JAの予定利率変動型年金共済「ライフロード」の次のプランにおける6年目以降最低保証予定利率(0.75%)で推移した場合の試算値となっています。

【ご契約例】男性 払込方法：月払（月々1万円プラン）、払込終了60歳 60歳年金開始、定期年金10年タイプ、当初5年間の予定利率0.9%

※利息は、「10年間の年金受取総額－払込共済掛金の合計額」（万円未満切捨て表示）としています。

（25年4月現在）



Q-2

早めの準備が必要ですね。そのほかに、老後資金準備の自助努力について留意する点はありますか？

A-2

やはり現在のような低金利時代では、市中金利連動型や予定利率変動型の商品を選べば、高金利の時代にも金利が連動しますので安心ですよ。



例えば…

J Aの予定利率変動型の年金共済「ライフロード」は、6年目以降、1年ごとに予定利率を見直しますので、下図のように年金額が増える楽しみがあります。

1.90%で推移した場合	約213万円(利息)	受取総額 約693万円
1.60%で推移した場合	約166万円(利息)	受取総額 約646万円
0.75%で推移した場合	約51万円(利息)	受取総額 約531万円
		掛金合計 480万円

※上記は、JAの予定利率変動型年金共済「ライフロード」の次のプランにおける6年目以降0.75%、1.60%、1.90%で推移した場合の試算値となっています。

【ご契約例】男性20歳 払込方法：月払(月々1万円プラン)、払込終了60歳 60歳年金開始、定期年金10年タイプ、当初5年間の予定利率0.9%

※利息は、「10年間の年金受取総額-払込共済掛金の合計額」(万円未満切捨て表示)としています。

(25年4月現在)

A-3

あと、もうひとつ大切な視点は「老後資金準備は失敗が許されない」ことです。やはり、元本確保型や最低保証年金確保型を選択することが重要です。(注)



J Aの予定利率変動型年金共済「ライフロード」の特長

年金
特長
1

年金額が増える楽しみがあります

6年目以降、1年ごとに予定利率を見直しますので、年金額が増える楽しみがあります。

年金
特長
2

一度増えた年金額は減りません

予定利率の見直しにともない増加した「最低保証年金額」は、一度増えたら減ることはありません。

年金
特長
3

最低保証予定利率が設定されているので安心です

この共済にはご契約時にお約束した「最低保証予定利率」が設定されており、予定利率の見直しに際し、この最低保証予定利率を下回ることはありません。

(注)所定の期間でご解約される場合、お支払いする返れい金がお払込みいただいた掛金を下回る場合があります。

老後資金準備の自助努力にピッタリなJAの予定利率変動型年金共済「ライフロード」をぜひご検討ください。

※この資料は、概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。



毎年(毎月)の共済掛金は、ご契約の際、任意に決定していただく事が可能です。老後の蓄えをお考えの方はお気軽にご相談下さい!

13019990032

理事会レポート

第7回 7/17開催

◇議案

- ①平成25年度第1回監査報告について
豊島代表監事より、平成25年度第1回監査報告を受けました。
- ②経理規程の一部改定について
原案通り承認されました。
- ③有価証券等の保有目的区分要領の一部改定について
原案通り承認されました。
- ④時価算定要領の一部改定について
原案通り承認されました。
- ⑤農業者戸別所得補償制度に係る仮渡金実施要綱の廃止及び
経営所得安定対策交付金制度に係る仮渡金実施要綱の制定について
原案通り承認されました。仮渡金の実施内容は前年と変更ありません。
- ⑥組合員の持分譲渡について
正組合員1名の方の持分譲渡が承認されました。

組合員状況 7月末日現在

組合員数		前月対比
正組合員	457名	(±0)
(内 7法人含む)		
戸数	308戸	(±0)
准組合員		
団体	166団体	(±0)
個人	239名	(±0)

＝協議報告事項＝

1. 第7次中期総合計画策定に伴う組合員意向調査集計結果について
2. 経営定期点検の改善状況に対する確認について
3. ホクレン延払制度の連動型資金の利率について
4. 民間流通麦の仮概算払いの取り止めについて
5. 草地の更新について
6. 店舗経営改善に伴う平成25年度6月末実績報告について
7. 組合員の異動について
正組合員1名の加入、正組合員1名の脱退が報告されました。

7月20日開催 北見黒毛和牛市場成績

(価格 円)

		市場全体		女満別	
		本年実績	前年同期	本年実績	前年同期
去勢牛	平均価格	551,684	422,791	578,833	445,950
	出場頭数	214	239	27	29
	成立頭数	213	228	26	28
雌牛	平均価格	448,382	342,449	469,578	357,210
	出場頭数	167	185	23	20
	成立頭数	166	176	23	20

※価格は1頭平均・税込価格



あおぞら通信6月号でお知らせしました、「女満別産 和牛肉販売」が7月9日(土)、Aコープ店舗前にて行われました。

販売開始前から長い列ができ、多くの方にお買い求めいただきました。

地産地消の取組として実施した「女満別産 和牛肉販売」に多大なる御協力を賜りありがとうございました。

**女満別産
和牛肉販売お礼**

北見管内総合家畜共進会(和牛の部)開催

7月13日(土)、訓子府の北見管内畜産総合施設において、第63回北見管内総合家畜共進会(和牛の部)が開催され、当JAから6月に開催された町内品評会上位入賞牛8頭が出品されました。

管内和牛No.1の称号にあたる最高位は獲得出来ませんでしたでしたが、1部の中村敏治さん(中央)所有の「ひさただ」号と、4部の朝妻繁治さん(湖南)所有の「かつこ」号がそれぞれ1等1席に入賞し、各部においても上位に入賞しました。

上位入選牛につきましては9月15日(土)の安平町で開催される第30回北海道肉用牛共進会に出品する予定です。各部の成績は以下の通りです。

<出品牛成績>

1部	1等1席	ひさただ号	中村 敏治さん☆
	2等1席	なつき号	合田 昭さん
2部	1等2席	ひさふじ号	小野 真司さん☆
	2等1席	ゆりなな24号	羽生 雅芳さん☆
	3等2席	よしひら23号	羽生 雅芳さん
3部	2等2席	はなしげかつ号	朝妻 繁治さん
4部	1等1席	かつこ号	朝妻 繁治さん☆
	2等2席	なな号	羽生 雅芳さん

☆印…北海道肉用牛共進会へ出場予定



1部 1等1席 ひさただ号



1部 2等1席 なつき号



2部 1等2席 ひさふじ号



2部 2等1席 ゆりなな24号



2部 3等2席 よしひら23号



3部 2等2席 はなしげかつ号



4部 1等1席 かつこ号



4部 2等2席 なな号

今月のあなたの運勢 8月 モナ・カサンドラ



牡羊座
3/21~4/19

【全体運】楽しいことに縁がありそう。お祭りや海水浴など、行楽に誘われたら、気軽に参加して。ホームパーティーも吉

【健康運】ちょっとしたけがに気を付けて。慎重に

【幸運を呼ぶ食べ物】ピーマン



獅子座
7/23~8/22

【全体運】自分に自信が持てるので、何事にも意欲的に取り組める時期。過去に失敗した事柄にも果敢に再チャレンジを

【健康運】不規則な生活の改善が体調回復の鍵に

【幸運を呼ぶ食べ物】車エビ



射手座
11/23~12/21

【全体運】アクティブに動き回ること、新たな発見や自分自身の可能性が見つかる気配。楽天的な発想がツキを呼びそう

【健康運】クーラーの使い過ぎは厳禁。自然が一番

【幸運を呼ぶ食べ物】サトイモ



牡牛座
4/20~5/20

【全体運】判断を誤りやすく、独断で行動すると、トラブルを招きがち。周囲の助言に耳を傾けて。一人の時間も大切に

【健康運】口コミで評判の体操や健康術に注目して

【幸運を呼ぶ食べ物】カマス



乙女座
8/23~9/22

【全体運】小さな喜びが数多くある期間。ただ、物事を強引に押し進めると、失敗しやすい。調和を第一に考えて

【健康運】ヨガや気功など、軽い運動が健康の秘訣(ひけつ)

【幸運を呼ぶ食べ物】ブドウ



山羊座
12/22~1/19

【全体運】マイナス思考しやすい。意識的に笑顔を作り、気分を盛り上げてみて。気力回復にはアロマテラピーが有効

【健康運】疲れをため込まないこと。まめに休息を

【幸運を呼ぶ食べ物】シソ



双子座
5/21~6/21

【全体運】趣味や習い事など、自分が得意なジャンルに打ち込める月。人脈拡大にも最適で、友人との交流は良い刺激に

【健康運】暴飲暴食はNG。腹八分目にとどめること

【幸運を呼ぶ食べ物】エダマメ



天秤座
9/23~10/23

【全体運】好奇心を生かせば、さまざまなチャンスに出合える予感。やりたいことには果敢にトライを。ネット検索も◎

【健康運】無理は禁物。自分の体調をよく見極めて

【幸運を呼ぶ食べ物】レタス



水瓶座
1/20~2/18

【全体運】優柔不断になる暗示。迷ったときは、独りで悩まず、身近な人に話してみてもいい。気分転換には芸術鑑賞がグッド

【健康運】胃腸をいたわると体調が回復してきそう

【幸運を呼ぶ食べ物】梨



蟹座
6/22~7/22

【全体運】気持ちにゆとりが生まれ、のんびりできるはず。やるべき作業を早めに片付け、その後、自分の時間を満喫して

【健康運】熱中症対策の徹底を。リラックスも大事

【幸運を呼ぶ食べ物】アワビ



蠍座
10/24~11/22

【全体運】頑固になりやすい傾向が大。つまらない意地を張らず、常に素直な言動を心掛けて。気晴らしには生け花を

【健康運】積極的に体を動かせば、体調に好影響

【幸運を呼ぶ食べ物】キクラゲ



魚座
2/19~3/20

【全体運】やたらと人のことが気になるかも。余計な口を挟んで、もめないう。ご用心。自分がやるべき作業に集中して

【健康運】特に問題なし。スポーツを始めてみては

【幸運を呼ぶ食べ物】カワハギ



組合員の暮らしと健康を守る
A・コープめまんべつ

お盆セール!!

8月8日(木)～8月15日(木)

お盆営業日程

8日(木)～9日(金) **2日間** お盆セール 第1弾!!

10日(土)～11日(日) **2日間** お盆セール 第2弾!!

12日(月)～13日(火) **2日間** お盆セール 第3弾!!

14日(水)～15日(木) **2日間** お盆売り尽くしセール!!

※8月11日(日)は、営業致します。

※8月16日(金)は、「振替休業日」とさせていただきます。

お中元サマーギフト 店内展示中

最大**30%OFF!** 全国宅配中!

お知らせ

8月31日(土)は、棚卸監査のため午後5時閉店とさせていただきます。
当日のご用命は、お早めをお願いいたします。